



令和3年6月28日

各位

上場会社名 津田駒工業株式会社
 代表者 代表取締役社長 高納 伸宏
 (コード番号 6217)
 問合せ先責任者 常務取締役管理部門統括 松任 宏幸
 (TEL 076-242-1110)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、令和3年4月13日に公表した業績予想を、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

令和3年11月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(令和2年12月1日～令和3年5月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	13,500	△1,400	△1,450	△1,500	△234.78
今回修正予想(B)	12,000	△1,550	△1,450	△1,950	△305.22
増減額(B-A)	△1,500	△150	—	△450	
増減率(%)	△11.1	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (令和2年11月期第2四半期)	11,548	△1,530	△1,567	△1,850	△289.61

修正の理由

繊維機械事業では、主力の中国市場は内需向け織物用を中心に需要が続いており、売上は計画通りに推移いたしました。一方、インド市場は第1四半期以降、新型コロナウイルス感染症が再拡大したことに伴い、都市封鎖等により経済活動が停滞し、銀行業務にも大きな影響が出ました。このため成約済案件のL/C(信用状)の発行遅延もあり、売上は計画を下回りました。なお、開発を進めてまいりました新型ジェットルームは、先行販売を進め、国際繊維機械展示会でも高い評価をいただいております。

工作機械関連事業では、中国市場のEMS業界向けのNC円テーブルの需要を積極的に取り込みました。主要な納入先であります国内の自動車産業向けは、半導体関連部品の不足、長納期化に伴う生産調整等の影響から、売上は計画を下回りました。

このような状況から、第2四半期(累計)の連結業績予想に関しましては、売上高12,000百万円、営業損失1,550百万円に下方修正いたします。また特別損失として、減損処理による投資有価証券評価損513百万円を計上したことから、親会社株主に帰属する四半期純損失は1,950百万円に下方修正いたします。(詳細は、本日公表いたしました「特別損失(投資有価証券評価損)の計上に関するお知らせ」をご参照ください。)

なお、通期の業績予想につきましては、7月13日に予定しております令和3年11月期第2四半期決算発表において公表する予定です。

以上